

事務事業名		みどりの景観整備事業			会計	一般会計				
課等名		林務課	係等名	里山保全係	事業種別	政策	開始	17	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
	施策	51	緑の保全と創出							
目的	対象(誰・何を)	集落、農地、幹線道路から概ね700m以内の森林			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	荒廃した集落周辺の森林(里山)の保全管理が図られることにより鳥獣被害の防止の効果が高める				集落周辺の森林(ha)			9	
	向上させたい上位施策の成果指標	身近な自然は守られているかを感じる市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	整備された集落周辺の森林(ha)			9	2.67	8.4			
	定性目標									
	<p>野生鳥獣の耕作地への被害が増えているため、里山の農地周辺の荒廃森林等の藪払い、不用木の除去をすることで、サル、イノシシ、クマ等による農林産物被害を防止する手立ての一つの方策と同時に良好な森林景観を形成する。</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	鳥獣被害防止緩衝帯整備事業 森林と農地の境界周辺の荒廃した里山林における藪払い、除間伐				整備計画面積(ha)			A=2.67ha		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		2,510	825	824	3,256	(県)野性鳥獣総合管理対策事業補助金(国5/10)				
国庫支出金										
県支出金		1,254	412	412	1,628					
起債										
その他										
一般財源		1,256	413	412	1,628					
人件費計(千円)②		0		1,252						
正規職員所要時間				350						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		2,510	825	2,076	3,256					
事業内容・目標達成状況の振り返り		補助金が減額となり補助金の範囲での事業を実施した。								
改革改善の考え方	①問題点	山林と農地の林縁部が手入れされない状態でクマ、サル等の出没による農業被害が拡大している。								
	②改革提案	クマは山の木の実の豊凶状況により里へ出没する数が年によって変動するが、サルについては群れの中の頭数も増えており、サルに対する対策が重要となっている。								